

特定非営利活動法人 日本コエンザイムQ 協会  
第14回研究会プログラム

【東京工科大学片柳研究所棟地下1F大ホール】

2017年 2月 7日 (火)

9:55 ~ 10:00 開会挨拶 (会長 山本順寛)

10:00 ~ 11:20 研究発表 (01-04) 座長 (吉村眞一)

01 コエンザイムQ10 摂取が学生の持久能力及び自覚症状を改善する

○鈴木 優<sup>1</sup>, 谷野 豊<sup>1</sup>, 内山秀一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>株式会社 分子生理化学研究所, <sup>2</sup>東海大学体育学部

02 還元型コエンザイムQ10による地域密着型臨床研究

○藤井健志<sup>1</sup>, 宮越 洋<sup>1</sup>, 木下 徹<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>(株) カネカ QOL事業部, <sup>2</sup>ちいき進かがく(株),

<sup>3</sup>愛媛大学大学院医学系研究科地域健康システム看護学

03 マウスの熱傷・感染に伴う酸化ストレス亢進と脂質代謝異常

○王 靖嶼<sup>1</sup>, 宮崎裕美<sup>2</sup>, 永瀬 翠<sup>1</sup>, 山下公佑<sup>1</sup>, 齋藤大蔵<sup>2</sup>, 山本順寛<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京工科大学応用生物学部, <sup>2</sup>防衛医科大学校外傷研究部門

04 CoQの上皮極性化促進過程における形質膜(膜動態)に対する影響の検討

○堀越洋輔<sup>1</sup>, 中曾一裕<sup>1</sup>, 北川良憲<sup>1,2</sup>, 松浦達也<sup>1</sup>

<sup>1</sup>鳥取大学医学部統合分子医化学, <sup>2</sup>鳥取大学医学部麻酔科・集中治療医

11:20 ~ 12:40 研究発表 (05-08) 座長 (川向 誠)

05 分裂酵母(*S.pombe*)のCoQ欠損株における基質化合物の添, 加により蓄積する中間体物質のLC-MSを用いた解析

○松本早代, 柳井良太, 赤井華子, 西野耕平, 戒能智宏, 川向 誠

島根大・生物資源

06 分裂酵母*Schizosaccharomyces japonicus*の種々の培養条件における生育とCoQ生合成能への影響

○渡子 開, 望月夕美, 戒能智宏, 川向 誠

島根大・生物資源

07 水溶性コエンザイムQは老齢マウス運動皮質におけるリン酸化 $\alpha$ -synucleinの蓄積を抑制し運動機能低下を改善する

○高橋真由美<sup>1</sup>, 井上律子<sup>2</sup>, 三浦正巳<sup>2</sup>, 大澤郁朗<sup>1</sup>, 白澤卓二<sup>3</sup>, 高橋和秀<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京都健康長寿医療センター研究所・老化制御, <sup>2</sup>神経生理, <sup>3</sup>白澤抗加齢医学研究所

08 血管内皮細胞に対する還元型コエンザイムQ10の抗酸化ストレス及び抗老化効果

○霍 佳<sup>1</sup>, 徐哲 一<sup>1</sup>, 代 健<sup>1</sup>, 五十嵐佑一<sup>1</sup>, 宮原大貴<sup>1</sup>, 樋口京一<sup>1,2</sup>, 澤下仁子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>信州大学大学院 医学系研究科 疾患予防医科学系 加齢生物学,

<sup>2</sup>信州大学学術研究院 先鋭領域融合研究群 バイオメディカル研究所

13:25 ~ 13:35 総会

13:40 ~ 14:40 研究発表 (09-11) 座長 (松浦達也)

09 サポシンBのCoQ10結合能のpH依存性と2量体構造との相関

○大久保翔平, 湯原小百合, 吉村真一, 山本順寛, 藤沢章雄  
東京工科大学応用生物学部

10 血漿中プロサポシン濃度の加齢や病態による変化

○窪 愛理, 松本 望, 永瀬 翠, 山下公佑, 森内 寛, 吉村真一,  
山本順寛  
東京工科大学応用生物学部

11 パーキンソン病患者はコエンザイムQ10不足か?

○山下公佑<sup>1</sup>, 頼高朝子<sup>2</sup>, 木下徹<sup>3</sup>, 窪 愛理<sup>1</sup>, 三橋 輝<sup>1</sup>, 永瀬 翠<sup>1</sup>,  
服部信孝<sup>2</sup>, 山本順寛<sup>1</sup>

14:50 ~ 15:50 特別講演 1 座長 (市橋正光)

Coenzyme Q10の抗老化作用メカニズムの解明

—マウスと培養細胞を用いた解析—

○樋口京一, 澤下仁子 信州大学医学系研究科

16:00 ~ 17:00 特別講演 2 座長 (岡本正志)

栄養成分や薬物の吸収機構とそれらの吸収特性に合わせた剤形の選択

菅原 満 北海道大学大学院薬学研究院

17:10 ~ 18:10 特別講演 3 座長 (山本順寛)

F.L. Crane influence on CoQ research: From plasma membrane to autism

Plácido Navas Universidad Pablo de Olavide-CISC, Sevilla, Spain

18:10 ~ 19:30 懇親会 (於 片柳研究所棟16Fバンケットルーム)